

Vol.14

発行元：NPO法人22世紀
八幡ルネサンス協会
八幡市八幡高畑 10-76
TEL・FAX 075-981-6505
発行：年4回

◆ 目次 ◆

八幡に生きる	… 1
弥生の至宝	… 2
やわたしぜんだより	… 4
市議会を傍聴しませんか…	6
ニュースを読む	… 7
コロナ禍を考える	… 8
八幡 俳句歳時記	… 9
俳句でつながる	… 10
読者の文芸／編集後記	… 12

八幡に
生きる

名刹の復興に半世紀

神応寺住職 大木祖浄



神応寺は、奈良大安寺の僧行教が宇佐より八幡神を男山に勧請した翌年に創建されたと伝えられます。宗旨は天台・真言などを経て、今日、曹洞宗の名刹として、男山中腹に僧堂を構えています。

十二世の弓箴善僧は、豊臣秀吉の幼馴染であったことから神応寺の住職に命じられ、朱印状をもって寺領を賜ります。寺領

は徳川幕府に引き継がれ、朱印状も残されています。

禅宗寺院としての伽藍を整備し、宇治の興聖寺と並ぶ洛南きつての禪苑に整えたのが元禄期の十九世廓翁鉤然です。その時、寺の復興に寄与したのが淀城主の永井家で、墓地には永井家の墓碑を見ることができま

す。さて、大木祖浄現住職は、昭和16年に大阪市東成区に生まれました。だが父親は出征し、南方でマラリアを患い、帰国後に死去。母親も父を追うように亡くなり、奈良県宇陀郡に住む叔父夫婦に引き取られ養育されました。

僧侶を志したのは、父母の相次ぐ死とともに、伯母が宇治の靖国寺に奉職していた関係で、同寺に入ることを諭されたからです。靖国寺では、同年齢の小僧さんが勤めていたこともあり、彼らと寝食をともにしました。当時の住職は中井祖門。祖浄の名は、のちに祖門の一字を譲られたものです。

朝は6時に起床。食事、堂内はもとより、庭園の清掃、便所

の掃除など厳しくしつけられました。やがて、静岡の可睡斎と称する曹洞宗の寺院でも修行します。昭和39年、靖国寺の祖門方丈（曹洞宗では住職を方丈と呼ぶ）死去の報を受け同寺に帰り、百か日の法要後に越前の永平寺に赴きます。

壁に向かつての坐禅、堂内や庭園の掃除、食事、托鉢など3年間の修行に勤しむのでした。

帰洛後、しばらくして、曹洞宗の寺局より、八幡の常昌院の住職になるよう要請されます。

廓翁鉤然が整備した寺院ですが、長く無住状態が続き、戦中に疎開でやってきた人々が居つき、居住権を主張。祖浄住職は弁護士とも相談して、宗教法人格を得、住職辞令書を示すなどして交渉。なんとか立ち退いてもらいました。

檀家がないお寺です。住職と奥方の二人だけで、周辺の荒地を拓いたり、土地を提供してもらおうよう地主に働きかけたりして寺域を拡張します。昭和30年代、男山団地の造成などもあり、八幡に移り住むようになった人びとに檀家になって頂き、

墓地を造成するのです。檀家は、寺が京阪電車の沿線であることから大阪市や枚方市在住の方々も存在します。

常昌院には25歳ごろから約30年間在職しましたが、法類から神応寺の住職に就くよう要請されます。止む無く覚悟を決め、行くとお化け屋敷同然です。堂宇は瓦が外れ、所々に雨漏りがあり、庭も荒れ放題。寺の宝物は行方不明の物が多くありました。

寺の修復の傍ら、宝物を買い戻すことにも奔走。寺とその周辺の整備には地域のボランティアの方々の援助もいただきました。

数年前より寺主催の紅葉祭を開催していますが、今年は八幡市観光協会主催の「秋の文化財一般公開」を他の寺社と共催して実施し、多数の参詣者を迎えました。廓翁鉤然など先代の法恩に報いるためだと、静かに語ってくださいました。

（構成・土井三郎）

弥生の至宝 四

式部谷銅鐸（4）

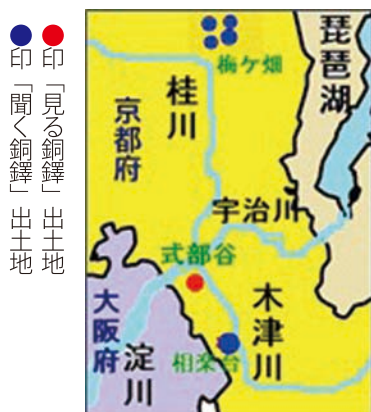
濱田博道

◆山城地域で6個の銅鐸出土

前回、山城地域で弥生時代中期（紀元前4世紀～紀元1世紀）の銅鐸鋳型と銅鐸が出土していることを述べました。一つは向日市の鶏冠井遺跡の最古段階の銅鐸の鋳型、もう一つは木津川市の相楽台遺跡の中段階の銅鐸です。

以上の他に1963年（八幡市式部谷銅鐸発見の翌年）、京都市右京区梅ヶ畑遺跡から古段階の銅鐸4個が出土しています。山城地域全体で出土した銅鐸は計6個となります。（銅鐸鋳型は個数から除く）

《山城地域の銅鐸出土地》



●印 「見る銅鐸」 出土地
●印 「聞く銅鐸」 出土地

注目しておきたいのは、山城地域

で出土した銅鐸のうち式部谷銅鐸を除いた銅鐸はすべて紀元前に製作された「聞く銅鐸」であるということです。つまり式部谷銅鐸だけが「見る銅鐸」なのです。（式部谷銅鐸は紀元2世紀製作の突線鈕3式銅鐸）

◆京都府全体の銅鐸数

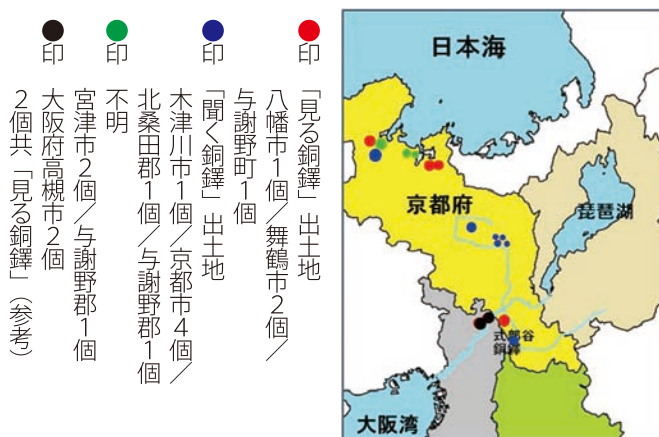
京都府全体では、計14個の銅鐸が出土しています。

そのうち古段階の銅鐸が4個、中段階が3個で「聞く銅鐸」は計7個です。新段階の「見る銅鐸」は4個、残りの3個は「不明」です。

この場合、「不明」というのは古文書や伝承上銅鐸が出土したとされるけれど現物は残っていない、あるいは出土した当時曲がっていたので鋳つぶしてしまつて今はないので、どういう銅鐸かわからないというものです。

銅鐸は全国で約530個出土していますので、京都府の割合は3%足らずです。多いとはいえません。しかし、向日市で銅鐸の鋳型が出土していますので、弥生時代中期には銅鐸はかなり流通していたと推定されます。

《京都府の銅鐸出土地》

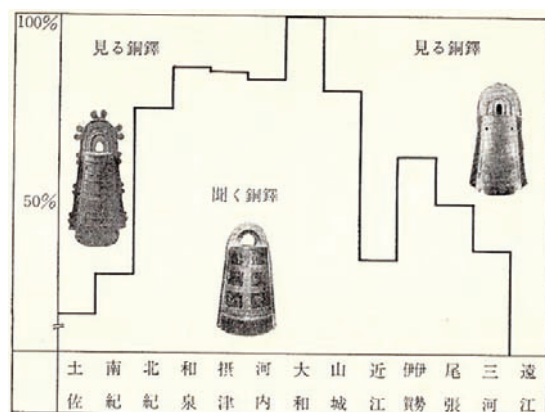


●印 「見る銅鐸」 出土地
八幡市1個／舞鶴市2個／与謝野町1個
●印 「聞く銅鐸」 出土地
木津川市1個／京都市4個／北桑田郡1個／与謝野郡1個
●印 不明
宮津市2個／与謝野郡1個
大阪府高槻市2個
2個共「見る銅鐸」（参考）

◆「聞く銅鐸」と「見る銅鐸」

「聞く銅鐸」は弥生中期に東海以西の広範囲（静岡～佐賀）で使用されてきました。共同体の維持と繁栄を願ひ、豊饒を祈念する農耕儀礼の祭器です。紀元前に埋納されたと考えられています。これに対し、「見る銅鐸」は弥生時代後期～終末期、地域リーダー達の連携のシンボリック役割を持つ銅鐸です。祭器であることに変わりはないものの、装飾化・巨大化が進んで、振り鳴らされることもなくなりました。

◆聞く銅鐸と見る銅鐸の割合図



↑『日本の古代史5』角川書店 1975

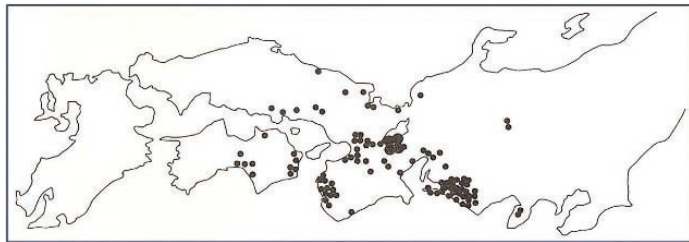
「見る銅鐸」は2世紀から3世紀頃までの150年足らずの間、製作されました。この銅鐸が埋納される頃から備前、出雲、丹後、畿内、濃尾といった各地域で、限られた人物を葬った大きな墳丘墓が出現し、やがてそれらが統一されて、前方後円墳が多く造られる次の古墳時代へと続きます。最初の定型化した前方後円墳は3世紀半ばに造られた奈良県桜井市にある箸墓古墳とされています。「見る銅鐸」の埋納は新しい社会の出現や地域の統合と密接にかかわっているといえます。

◆「見る銅鐸」の謎

①大量の青銅の入手

左図は「見る銅鐸」の分布図です。東は静岡県～西は岡山県、北は福井県・長野県～南は高知県・和歌山県まで150個以上出土（「銅鐸地名表」による）しています。

↓福永信哉「見る銅鐸」の分布」（『邪馬台国から大和政権へ』より）



まだ発見されていない銅鐸もあるでしょうから、作られた銅鐸の数は優に150個を超えることになりました。

「見る銅鐸」は製作された約150年間に、時と共に巨大化していきますが、仮に銅鐸1個の重さを8kg（巨大化した銅鐸は重さ20kgを超えるものもある）とすると、150個では1トンを超える青銅が使用されることになります。弥生時代、単に一地方の勢力では入手するのが難しい青銅の量です。誰がどのように入手し、銅鐸を製作していたのでしょうか。

②銅鐸の青銅の分析

近年、銅鐸の青銅の鉛分析により「聞く銅鐸」は銅鐸により検査値がかなりまばらであるのに対し、「見る銅鐸」は均一化していることがわかりました。

「見る銅鐸」の鉛成分分析はどれも非常に近接した値を示し、鉛の産地の検証から中国華北産の青銅がインゴット（溶かした金属を鑄型に流し込んで固めたもの）として朝鮮半島経由で日本に運び込まれたと考えられています。（『続考古学のための化学10章』東京大学出版会1986）

③2種類の「見る銅鐸」

前ページの「聞く銅鐸と見る銅鐸の割合図」（『日本の古代5』）によると、「見る銅鐸」は2種類あることがわかります。

吊り手の鈕の周囲に突線が付いていることは共通していますが、右の銅鐸には鈕に飾耳（かみみみ）があります。近畿式銅鐸といえます。近畿地方を中心に土佐、備前など主に近畿地方以西に分布します。もう一つは飾耳のない銅鐸です。三河や遠江を中心に分布するので三遠式銅鐸（さんえんしき）と呼ばれます。両者は製作工人集団が違い、他にもいくつかの違いが認められます。



近畿式銅鐸



三遠式銅鐸

→『最新日本史図表』第一学習社より

④京都府は二銅鐸の境界？

京都府で出土した4個の「見る銅鐸」のうち舞鶴市の勾ヶ崎遺跡で出土した2個の銅鐸は興味をひきます。1個は近畿式銅鐸、もう1個は三遠式銅鐸であるからです。このことは舞鶴市の勾ヶ崎地域では三河や遠江の東海地方、大和・河内の近畿地方双方と交流があったことを示しています。近江の野洲市大岩山遺跡からは二十数個の「見る銅鐸」が出土していますが、近畿式銅鐸と三遠式銅鐸が共に出土しています。ですから、近江では東海・近畿地方双方と、京都の舞鶴市でも双方と交流していたということですね。舞鶴市以西では三遠式銅鐸は出土していませんから、ここが三遠式銅鐸の西限となつてい

ます。

八幡市の式部谷銅鐸は近畿式銅鐸ですから、大和・河内の銅鐸製作集団から入手していたことになります。

◆最後に

舞鶴市や与謝野町は当時朝鮮半島との交流の日本海ルート的重要拠点でした。同時に東海地方・北陸地方・近畿地方・北中国地方を結ぶ陸路の交通の要衝でもありました。そうした地域から「見る銅鐸」が出土しています。

八幡市の式部谷銅鐸も日本海・山陰ルート、瀬戸内ルート、東海ルート、そしてヤマト中央の勢力を結ぶルートの要衝の地から出土しています。弥生時代後期、この要衝の地に多くの集落が形成され、「見る銅鐸」が埋納されていました。

まとめて言うことは、京都府の「見る銅鐸」は交通・水運の要衝の地から出土しているということです。

（つづく）

やわたしぜんたい

No.4 山村 元秀

No.3 のドングリに続いて今回は木や草が作り上げた実や種。無限につながる命のカプセルの形と色は多様で、表面はツルツル、ザラザラ、トゲトゲ…。目をうばわれる鮮やかな赤、葉の裏にかくれた黒、紫やコバルトブルー……それも生き抜くための知恵と知れば親しみも深まります。

木の実・草の実ー冬の樹木・野草ウォッチングー

冬になると八幡市内にもいろいろな実をつけた樹木が目立つようになります。

エノキ	背割堤に大木があります。8 月末から食べることができる小さな赤い実をつけます。
アオキ	光沢のある赤い実と薄暗い場所でも艶やかな葉が目立ちます。男山に自生しています。
センダン	堤防に大木が自生しています。最初は緑色で、熟すと黄褐色になります。
クロガネモチ	庭木によく使われています。生い茂った葉の中に赤い実がついています。
アメリカハナミズキ	真っ赤な紅葉の後には、真っ赤な実が目立つようになります。
タラヨウ	男山にある葉裏に文字を書ける木。赤い実をつけています。
イズセンリョウ	男山の裏参道の法面に見られます。白い実をつけています。
エンジュ	男山団地によく植えられています。黄緑色の枝豆のような実を枝先にたくさんつけます。
ナンキンハゼ	ハート形の葉が紅葉した後、黒く熟した後、白い種子が顔を出します。
ヤブツバキ	男山に多くみられる照葉樹です。実が熟して割れると光沢のある黒い実が出てきます。
ムクノキ	黒い実は甘くおいしい。ざらつく葉をヤスリとして漆器などの研磨に用いたそうです。

赤い実

カラスウリ

真っ赤なカラスウリの実の中にある種をよく見ると布袋さんの形をしています。



サネカスラ

皮をおいてつぶして水を加えるとネバネバした液体になります。これを髪につけて整髪料としたそうです。これが別名ビナンカスラ（美男葛）の由来です。

ソヨゴ

ソヨゴの名は葉が波打っており、風にそよいでソヨソヨと音を立てることに由来しているそうです。

ヒヨドリジョウゴ

おいしそうな果実ですが神経毒であるソラニンを含んでいるので、たくさん食べると中毒をおこす可能性があります。

黒い実

マルバシャリンバイ

梅のような花を咲かせ、枝葉が車輪のようについているので、この名前がつけました。



トウネズミモチ

公園や道路によく植えられます。たくさんの黒い実が房状つきます。

ジュズダマ

真ん中に穴があり、ひもを通すと数珠になります。

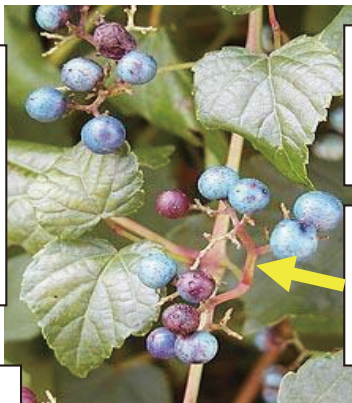
クスノキ

実は秋に黒く熟す。枝や葉は防虫剤としておなじみの樟脳の臭いがします。

紫・青・緑など

クサギ

葉をもむと油のようなくさいにおいがします。鳥に食べてもらうため、実はとてもよく目立つ色をしています。

**ムラサキシキブ**

実が美しいのでよく家の庭にうえられます。

ノブドウ

きれいな実はじつは「虫こぶ」。食べられません。

イシミカワ

鋭い棘があり、他の植物に引っかかりつつ生長します。花は目立たないが、果実はコバルトブルーとなり、よくめだって美しい。

**アオツツラフジ**

実の中にはアンモナイトそっくりの種が入っています。

センダン

5月の下旬頃に薄紫の小さな花が房状に咲きます。雑草でセンダングサ（コセンダングサ）というのがありますが、葉が似ているからです。

イヌビワ

イヌとは役に立たない事、つまり食用にならない小さなびわの実をつける事から付いた名前です。

命のカズセル木の実の秘密—その1—「芽生(め)えるための工夫」

植物のなやみは動けないこと。タネが立派に育ったら、なるべく遠くへ運ばれて、しっかり芽生えてほしいから、あの手この手と工夫をこらします。

工夫1

おいしそうに熟れて、鳥や動物に食べてもらう。
ドングリの仲間や、赤・黒・青・紫などに色づく実

**工夫2**

うすいつばさや毛をつけて風に運んでもらう。
カエデ・マツ・アキニレ・ヤナギ等

工夫3

水に浮くような形になる。
クルミ・ココヤシ等

**工夫4**

自分の重さで落ちて転がる。
ツバキ・ムクロジ等

**工夫5**

パネの仕組みで種をはじき飛ばす。
フジ・クサギ等



命のカズセル木の実の秘密—その2—「実なの？種なの？」

発芽したドングリを見ると誰でもドングリは種だと思いますね。2つに割ったドングリの写真を見てください。被子植物であるドングリの子房が変化した果実の部分は一番外側の堅い殻一枚です。だから、全体が種のように見えてしまいます。このように乾燥して堅くなった果実を「堅果」といいます。

クルミはもっと不思議な実です。堅いクルミの殻が子房のふくらんだ本当の実で、石のように堅いので「石果」といいます。木になっている時についている殻を包んでいる緑色の「実」は本当の実ではないので「偽果」とよびます。

果実、種子といってもその成り立ちは様々です。そこに植物が子孫を残すための秘密があるからでしょう。



特別寄稿

市議会を傍聴しませんか

猪飼美和子

令和2年の年明けは夏のオリンピックを控えワクワク感がありました。ところが、恐ろしいウイルスで国内はおろか世界中が翻弄される事になるとは思いもしませんでした。この危機状況は未だ収束が見えません。

国民を守るべく国、都道府県のトップリーダーが報道機関を通してウイルス感染防止策、経済対策に奮闘している姿を日々目にいたし、これまで遠い存在であった方々を身近に感じるようになり、私達も彼らの指導に基づき自分自身でしっかり考え行動する日々を送るようになりました。そして、今まで考えてもいなかった当たり前の日常のありがたさを実感する今日この頃です。

このような状況の折に、農業委員として八幡市議会参加の機会をいただきました。その場で気付いたことは、市民の代表者である議員の方々とはい余り接点がなく距離の遠さを感じたことです。

コロナ禍の影響もあると思います
が、傍聴席は空席でした。

実は、以前に傍聴したことがありますが、それ以来、選挙で選んだ市民の代表者に任せていれば大丈夫と、暢気に過ごしていた自分の甘さを大いに反省いたしました。

コロナ禍の日常のなかでネット情報も広がり、世界が近く感じられるようにもなりました。仕事形態も急速に変化をしてくれています。市議会でもネット中継をしています。全員ではありませんが、議員のホームページを見ることが出来ます。私たちが選んだ代表者に任せるだけではなく、市政に関心を持ち共に協力し、より良い町への変化を望みます。将来の八幡市が元気に活力ある住みよい市に発展できるよう願っています。

まずは、議員の方々と同じ空気間での議会の傍聴から始めませんか。

傍聴人が増えると議員さん達の緊張感が一層高まると共に、私達が八幡市の問題点に広く関心を持つようになると思えます。



市政を問う

代表質問と答弁から

「ぎずな」編集委員会

令和2年第1回定例会（3月議会）の概要を報じた「八幡市議会だより」（No.219）をもとに、市議会での議論されている一端を紹介するとともに、感想を述べさせてもらいます。

◆防災対策

Q 大水害が起きた時、避難場所や経路、手段が確保されているのか。高齢者や障害者の避難など細かな対策がなされているのか。

A 市内バス事業社による輸送の可塑性を検討し協議を行っている。避難場所は十分確保しているとは言えないが、府立八幡高校や摂南大学も具体化したい。

※避難場所や経路などの周知徹底とともに、すべて行政が抱え込むのではなく、町内会などとの協議を進め、きめ細かな対策を日頃から練っておくことが肝要ではないでしょうか。

◆まちづくり

Q 八幡市北部地域をどのように活性化しようとしているのか。

A 現時点では駅周辺に市の所有地が殆どないことや、財源の確保

など様々な課題があることから、市が単独で主体となった整備や即座の着手はできない。駅周辺の整備には、地元住民や地権者などの理解、意識の醸成や高まりが必要である。

※地元住民や地権者にどんな働きかけをしたのか。それとも手をこまねいているだけなのか。市民が知りたいのはそのことです。単に観光だけでなく、八幡市の北部の住民福祉を含めて抜本的に考えていただきたい。

Q 橋本駅前、高層マンションの計画があるが、景観破壊の問題はないのか。

A 八幡市都市計画マスタープランに示している都市機能の誘導や商業機能の充実などに着目した判断をしたい。

※「八幡市都市計画マスタープラン」がいかなるものか知らないのと如何とも判断できないが、先ずは現状を知りたい。開発を進める側の情報を把握しているはず。それを開示し、市としての基本姿勢を示してもらいたい。また、橋本駅前地区を含んだ四区の自治会が住民に対し詳細なアンケートを実施しています。それもふまえ、地域住民の納得する形で開発事業を進めてもらいたい。

※印は編集委員会の感想



日本国憲法がある

—コロナ禍の後のより良い
社会を目指すために

大阪国際大学名誉教授

石野はるみ

コロナ新型肺炎の感染が広がりを
見せるなか、これまで以上に、日本
社会の経済格差や差別意識、家庭内
暴力、非正規雇用などの問題があぶ
りだされています。政府のコロナ対
策やその他の政治の動向によって
日々左右される私たちであり、まさ
に政治が日常生活に深く関わってい
ると意識できるようになりました。
今こそわたしたちは科学的見解や学
識、見識に基づく賢明な政策はどの
ようなものか、またコロナ感染収束
後にどのような社会の到来を望むの
かということを考えるべきではない
でしょうか。

この秋、安倍退陣後を引き継いだ
菅首相は、安倍政権の路線をさらに
深化させていくようです。日本学術
会議の人文、社会科学の専門家たち
6名が、正当な理由なしで任命を拒
否された事件から、この政権も恣意

的、独裁的体質であり、学問、思想
の自由を軽く見なし、蔑ろにしてい
ることがわかります。

10月、菅政権の発足後初めての自
民党の憲法改正推進本部の役員会で
は、提案されていた4項目の自民党
憲法改正案を条文にまとめる作業を
進めるといふ話し合いがありました。

そのために「国民投票法改正案」審
議を経て、国民投票法改正案の早期
成立を目指すという考えです。20
20年の年末までには4項目の新た
な表現になった条文が提出されま
す。現時点での4項目の「たたき台
素案」の内、国の体制を大幅に変え
ると思われる最重要の2項目につい
て考えたいと思います。2項目の要
点は以下の通りです。

【自衛隊の明記】 9条の2（現行の
9条に替える）

「…自衛の措置をとることを妨げず、
そのための実力組織として…内閣総
理大臣を最高の指揮官とする自衛隊
を保持…」

【緊急事態対応】 73条の2

「大地震その他の異常かつ大規模な災
害により、国会による法律の制定を
待ついとまがないと認める特別の事
情があるときは、内閣は、法律で定
めるところにより、国民の生命、身

体及び財産を保護するため、政令を
制定することができる」

「内閣は…法律で定めるところによ
り、…国会の承認を求めなければな
らない」

64条の2 省略（緊急事態対応の措
置として衆議院議員の任期の特例を
認める案）

このような具体的形をとって今や
安倍元首相の念願である憲法改正を
進めようとしている自民党政権です
が、某評論家によれば、安倍氏は念
願の憲法改正ができなかったことに
対して残念とは思っておらず、改正
せずも現実には改正したと同様に
なっていると認識しているそうです。

その発言は、今さらながら憲法が
ないがしろにされてきた経緯を思い
起こさせます。安倍氏は2013年
に当時のオバマ米大統領を東京の寿
司屋で極上の寿司でもてなしつつ、
安保条約に基づく米軍との協力を約
束し、その一つである京都府京丹後
市の米軍レーダー基地の設置が始ま
りました。この時点より明らかに日
本は戦う自衛隊を持ち、戦争のでき
る国へと変わっていったのです。同
時に日米同盟強化のために軍事情報
に秘密化が必要となり、ほどなく特

定秘密保護法が成立しました。その
後、辺野古新基地建設を進め、自衛
隊の宮古、石垣島など南西諸島方面
の基地の拡張、自衛隊と米軍の戦闘
訓練や共同行動が始まり、軍備予算
が5兆円を超えていきます。元首相
は国会での議論や多くの国民の反対
を押し切り、閣議決定、強行採決で
2015年安保関連法、集団的自衛
権（外国で米軍と共に戦争に加担す
ることができる法律）、2017年共
謀罪、などの一連の法律を成立させ
ました。これは戦前の戦争準備体制
を思い起こさせるもので、国民を戦
争態勢に導くことが容易になる治安
軍事立法といえます。安倍元首相は
このように、日本国憲法の前文の規
定、平和主義、戦争放棄、9条の規
定をなくすに力をつけてきたのです。
今回、緊急事態対応の条文が憲法
に加筆されるとすると、どのような
ことが可能になるのでしょうか。
次号では、そんなことを考えてみ
たいと思います。

◆このコーナーは、いま、日本や世界、
そして地域に起こっている様々な問題
と、その背景を識者に自身の見解をもと
に解説してもらうというものです。もと
より、よりよい社会を実現するための提
言です。

コロナ禍を考える

免疫の新常識Ⅱ

新型コロナウイルス対策

その2

京都女子大学名誉教授

高桑進

前回述べたように、新型コロナウイルスは変異の大きなRNAウイルスであり、今までの免疫学の常識を改める必要があると述べました。まず自然免疫でこの新型コロナウイルスを撃退する人では無症状なので、ウイルスに感染した状態で他の人にウイルスを飛沫感染や接触感染させていることとなります。その結果、クラスターの発生につながります。それが高齢者の多い施設であったり、持病を持った方であったりすると致命的な感染となります。一見健康そうな若者がこの新型コロナウイルスに感染しているながら無症状のまま感染を広げてしまい、いわゆるスーパースプレッダーとなります。それを防ぐには三密にならないように行動規制するしか手はないわけです。

ヒトの自然免疫システムをすり抜けてきた新型コロナウイルスに対し

ては、前回述べたような獲得免疫で抗体が作られます。その抗体には善玉抗体、悪玉抗体、役なし抗体の3種類があることも学びました。

悪玉抗体はコロナウイルスを逆に活性化してしまいます。したがって、抗体があるからといって単純に新型コロナウイルスに対する免疫ができていたとは言えないわけです。ここが免疫の新常識ですね。

同じRNAウイルスであるインフルエンザウイルスの免疫は3カ月しか続かないように、宮坂先生によれば新型コロナウイルスのワクチンが出来ても、インフルエンザのように有効期間は極めて短いものになると考えられます。そうすると、来年オリンピックを開催することになれば、ウイルス感染を防ぐには参加者全員が開始直前の6、7月にワクチンを打たないとダメだということになります。

新型コロナウイルスに対する対策ですが、免疫を強くするのではなくて自分の持つ免疫をフル活用できる状態を保持することが大切です。リンパ球は血液の流れで全身をパトロールしているので、有酸素運動や入浴をして血流をよくすることが大切です。また、体内時計を毎朝き

ちんとリセットするため、朝日を浴びて、軽く体操や散歩をすることが大切。つまり、早寝早起きしてラジオ体操や散歩が役立つということですね。

食事はバランスの良い食事を心がけることで、何かこれ一つを食べれば免疫を強くする食品はないそうです。巷に広がる宣伝には惑わされないようにしたいですね。

人体の免疫は50代を過ぎると免疫力は半分に低下します。そのため新型コロナウイルスの重症者の95%が60代以上となります。免疫も老齢化して、数も減り元には戻らないとか。いつまでも若いと思うのはコロナ対策には良くないということになりますね。

最後に私たちの取るべき対策としては、(1) 飛沫感染を防ぐためには他人と1・5メートルの距離を保つこと。(2) マスクをつければ9割の飛沫は防げるので人が多い場所ではマスクをすること。(3) 換気すれば微小飛沫を防ぐことができるので室内の換気を十分にすること。そして、外出から家に帰ったらしっかりと手洗いするという穏やかな接触制限と行動変容で対応することができそうです。この点は日本が世界に誇るべき衛生観念ですね。

先生によれば、安くて良いワクチンができるには2年以上はかかるのか。そうすればインフルエンザと同程度の病原体となります。私たちとしては、できるだけ早く1年以内には手軽なワクチンが欲しいものですね。

したがって、しばらくの間は、新型コロナウイルスとは共存していかなくてはならないということになります。正しい知識と正しい行動規制がコロナウイルスとの共生につながります。皆さんもただ恐れるのではなくて、ここに述べた正しい知識を身につけて行動されることを期待します。



八幡俳句歳時記 10

近くにいた俳人たち(5)

阪神間・北梅田

―桂 信子

小笠原 信

好きな女性俳人は？と聞かれたら、その一番に桂信子（以下桂さん）と答えます。

桂さんは大正3年（1914）大阪市に生まれ、沢山の佳句を作り、戦後の女性俳人としてその先頭を、平成16年に亡くなるまで走りぬきました。享年90歳。彼女の活動の中心は、阪神間、大阪市、箕面市で、平成7年1月の阪神淡路大震災に80歳で被災し、大阪新阪急ホテルで最晩年までお暮らしになりました。



ていました。地下鉄で梅田まで行き、「かっぱ横丁」辺

りで友人と飲むためです。阪急百貨店横の通路で、小柄な桂さんを見かけた記憶があります。

桂さんは、大手前高等女学校を卒業した頃、俳句に興味を持ち、雑誌で新興俳句の雄、日野草城の新婚旅行を詠んだ連作俳句「ミヤコ・ホテル」を目にして衝撃を受けました。昭和9年のことで、俳句の新しい可能性に目覚め、以降草城を師として研鑽します。

窓の雪 女体にて湯をあふれしむ

やはらかき身と 月光の中に容れ

ゆるやかに着ていと逢ふ螢の夜

右の3句は、桂さんの初期の代表作です。花鳥諷詠・客観写生の句ではありません。勿論、桂さんが写生句を作らなかつたわけではありません。

たてよこに富士伸びてゐる夏野かな
という素晴らしい大きな景の佳句もあります。――当世のドローンを飛ばして見たようですね。「たてよこに伸びてゐる」はうまい！――雪舟の「天橋立図」のよう。

先の代表句に戻れば、桂さんの俳句は、「柔らかい」印象をもたらします。単に言葉のうえだけでなく、意

志して柔らかい句を作ったのだと思います。女性の性や生命、生きる歓びを俳句に取り入れようとした。前回、前々回の橋本多佳子さんよりも、実感としての身体感覚を詠み進めた俳人です。

ふとくろに乳房ある憂き梅雨ながき
この昭和24年（34歳）の初期の秀句も、当時としては挑戦的な句だったと思います。

師の草城が昭和31年に病死の後も桂さんは作句し、関西で俳句の指導に全力を尽します。昭和45年（56歳）で、「草苑」を創刊主宰し、「草樹」（宇多喜代子）に引き継がれます。

桂さんの俳句の「柔らかさ」に次ぐ2番目の特徴は、「平明さ」「深さ」です。沢山の句を読んでも、分からない句、難解な句はほとんどありません。分り易い句を作ろうというのも彼女の強い意志だと思います。

草の根の 蛇の眠りにとどきけり

実景というよりも、想像を逞しくした句ですね。雑草の根は冬の間にものどんどん伸びる。伸びれば、冬眠中の蛇にも届く。一寸怖い、しかし十分にあり得ると思わせる深い句。

更に、平成に入つての90年代には、

桂さんの俳句は自在さとユーモアを獲得していく。ユーモア感覚は、敗戦後を寡婦として、職業婦人として逞しく生きていく彼女に備わった感覚だったのでしょう。40歳頃の句に、

煖炉ぬくし何を言ひだすかもしれぬ

というユーモア溢れる面白い句があります。

忘年や 身のほとりものすべて塵

雪たのしわれにたてがみあればなほ

75歳を過ぎての晩年の秀句。俳句人生を充分に、意志的に生きてきて（諦念ではなく）、到達した達観が現れています。獅子・ライオンのたて髪それは男だつたら！の思い。しかし、悲憤も悲嘆も突き抜けたところに居る。後半生が不運であつた師草城の分まで生きた。女性俳人の先達として、自らの意志を志として生き切つた見事な人生。最晩年の句

人の言ふ老とは何よ 大金魚

この心意気！

※俳句は先人からの「言葉の宝」。佳句を呼び戻し、繰り返し読んで味わい、作句することが俳句を愛する、ということだと思います。お読み頂き有難うございました。

俳句でつながる

―八幡支援学校とだんだん句会

京都府立八幡支援学校

松本直子

上田優介

京都府立八幡支援学校は、平成22年に開校した、八幡市にある特別支援学校です。本校の特色として、同一敷地内に京都八幡高等学校南キャンパスが併設されており、様々な形で高等学校生との日常的な交流を行っています。

学校間の交流だけでなく、地域とのつながりを大切にし、地域の皆様との共同学習や地域社会と協働した学習を行い、本校の児童生徒にとつてより確かな学びや、「共生社会の実現」に貢献してきました。

地域との授業交流の一環として、去る9月23日に、八幡市の俳句サークル「だんだん句会」の皆様をお招きし、中学部1年生の国語の授業で御指導いただきました。

生徒達は、「ことばをつなごう」のテーマで、国語の学習を進めており、俳句よみはその中の一つ、言葉について学ぶ題材として取り組みました。

いきなり俳句をよむ学習を行うのではなく、俳句をよむために必要な事柄を、順を追って学習しました。まずは直近の出来事であった「夏休み」をテーマに、「いつ」「どこで」「だれと」「何をした」という文の構成を意識して文章を作る学習を行いました。そこから、「ことばあつめ」として、自分達が知っている五文字の言葉や七文字の言葉を集め、俳句が五七五の言葉で構成されていることを学んでいきました。

「なつやすみ」

なつやすみかぞくではなび

たのしいな

「あつい」

かきこおりあおいそらいろ

おいしんだ

「家」

ひみつちあそんだ

にわでともだちと

「水」をテーマに俳句をよむ際には、実際にみんな水遊びをし、その様子を写真に撮る授業にも取り組みました。

「水あそび」

みずあそび

せんせいおっかけ

びしょぬれだ

「水面」

すいめん

うつるあおぞら

うみきぶん



自分達の身近な夏休みをテーマにしたり、実際に水遊びをしたりすることをとおして、自分達の体験から明確にイメージや言葉を紡ぎ出せるようにしました。

交流の日が近づくにつれ、「ほんまに俳句名人来るの?」「才能有りって言うってもらえるかな」等、生徒の話からも期待がよく伝わってきました。

いよいよ交流当日、教室の窓から顔を覗かせ、廊下からの足音や話し声に耳を澄ませる生徒の姿を見て、「待ちわびているな」と感じられました。

授業が始まり、句会の方の俳句が「俳句名人」作として紹介されると、「すごいー」や「なるほど」と、一気に俳句への興味・関心が広がりました。

「だんだん句会」の皆様が

披露してくださった俳句

・月に住むつさぎも見えるや

この月見

・白ピンクコスモス

風とあそんでいる

・天高しむれとびあそぶ白い鳩



たった一時間の授業でたくさんの俳句が生まれました。これまでなかなか俳句をよむことができなかった生徒が、当日中に3句もの俳句をよむ等、とても意欲的に活動に向かう姿が印象的でした。

句会の皆様には、一緒に俳句をへ

✓よむ中で生徒達を見守っていた
き、作品を大いに評価してくださる
ことで、生徒達は自信をもつことが
できました。また、一生懸命に俳句
をよむ生徒の姿に教える側も感心す
る。そんな双方のやりとりがあつ
て、大変貴重な交流となりました。

この取組が終わってから、生徒
達から「また作りたい!」という声や、
自ら五七五の音に当てはめて遊んで
いる姿を見ることができました。

句会の活動を広げ、子ども達に俳
句のおもしろさを伝えたいという願
いと、地域の方との交流をおして、
生徒達の学びを深めたいという思い
が合致した交流とすることができま
した。



【生徒の俳句】

「こおろぎ」

(山田 琉惺)
こおろぎが
リーンリーンと
なっている



「秋桜」

(玉置 暁理)
あきかぜが
コスモスゆれて
すすしそつ



「鮭」

(辻井 佑輝)
しゃけはしおしゃけ
かわにおよぐいくらがおいし



「松茸」

(松本 琥我)
まつたけや
しちりんのうえ
かおりだす



「もみじ」

(杉村 知也)
あきがきた
きれいなあかい
あるくみち



◆俳句の授業に参加して

だんだん句会 塚本 正

支援学校の生徒に接すると自分が
見えてきます。自分の卑しさや愚か
さが炙り出されます。今回も、兼題
のコスモスの写真を前に黙考する女
生徒に、手助けのつもりでコスモス
に関する言葉を、あれこれ投げかけ
ても彼女は黙ったままです。やおら
彼女が書いた文字が「あきかぜ」で
した。私には見えない「風」を見て、
彼女は言葉を探していたのです。消

え入りたい思いでした。

同行の吉川せい子さんも、生徒達
の作品は「汚れない瞳と心が、そ
のまま五七五の言葉に映された素晴
らしい俳句」だと絶賛し、なまじつ
かな知識や経験で心を鑑っている自
分に気付かされたとのこと。坂本千
恵さんも、兼題写真から自分なりの
表現で、即吟できる生徒の能力に驚
いたようです。

この俳句の授業は先生方の卓越し
た指導力と周到な準備や御苦労が
あって成立したものだと思っております。

「兼題写真の一枚から」

支援校の刻やゆったり翳雲



読者の文芸

《俳句》

(やすお)

返り花亡き人想い止める足

秋雨や要の緩む舞扇

枝豆や時折り話途切れがち

(淑子)

湖渡る比叡風や波尖る

推敲の助詞定まらぬ風邪心地

過去形の話に終始忘年会

(かつら)

眼の合いて何か言いたげ菊人形

おでん屋の湯気のぐらりと高架下

(聖々)

月明り家出の猫の影走る

細道の重なり埋む柿落葉

義満の母恋ふ里や紅葉燃ゆ

(信)

永遠の眠りのけいこ日向ぼこ

鮫鰈も子規の横顔も顎あげる

初鏡補聴器の色見せぬよう

(千)

立冬や喫水下がる浚渫船

湖昏れて芦刈の束をちここに

協賛金のご協力をお願いします

枯園に小さき緑の二つ三つ

(重悟)

寒月の照らす雪林狐消ゆ

初雪にやがて辺りは浄められ

白磁とや終大師の陽を浴びて

(栄)

ゆりかもめ京の流れの空に舞ふ

水仙のつぼみうつむき膨める

バイパスの裸木黒く走り過ぐ

(爺々)

仔犬啼く隣の庭や年賀書く

天気図に西高東低炬燵出す

昨日今日喪中の葉書冬の鵬

(みやこ)

大判のマフラー膝に初句会

街中を新旧違えて冬どるる

一声を発し夜具でる冬の朝

(茜)

ツワブキの黄金パワー我が身へも

つわの花褪せても茎は凜として

蜘蛛の巣に朽ち葉は揺れて

ハンモック

(萩の葉)

木犀や往きても往きても日の杳く

曼珠沙華待たることの待つことの

《川柳》

(かつら)

またたびに舌舐めずりの老いし猫

背広にもフラーホールの落とし穴

泣いてますコロナ犠牲の

ふぐちようちん

(笑楽)

シミとシワおしやれマスクで

ちよと隠す

列島に台風除けの壁欲しい

残り物満腹気味の冷蔵庫

(三太郎)

鼻高く見せるマスクのご婦人ら

「夜の街」俺も主と狸言ふ

(悦子)

ゴリ押しで五輪のできるご時世か

観光に行かずとも有る錦秋や

コロナ菌出て来い

そこにいるんですよ！

《短歌》

(萩の葉)

爪立ちて送りし夜々の星くずや

水の如きを集めてるたる

雨粒をまとひしやうな匂ひして

はるの夕べは不意に始まる

◆読者の皆様へ

「きずな」15号は来年4月中旬に発行されます。春の俳句や川柳、短歌をふるってご投稿ください。

×切…3月5日

宛先…〒614-8332

八幡市橋本新石22-11

FAX 075・983

・5278

土井 三郎

編集後記

コロナ禍は感染の恐怖の一方で、環境、格差、差別など、社会と世界の様々な矛盾をあぶりだしました。「変化」の大きなきつかけとなった昨年に続き、今年はどうのように私たちが変化していくのか？ その方向をしっかりと見定めていくことが大切です。

これからのこの一年、生きていることの感謝と、八幡市に住んでいることの喜びを皆さんと共有できますよう、「きずな」を通して交流していきたいと思っています。

—「きずな」編集委員会—

(郵) 00940-8-196292

(銀) 京都銀行男山支店

普通預金

4165224

NPO法人22世紀八幡ルネッサンス協会